## 「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート(A: 裁量有)

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

4	- <del>***</del>	纟名 称	$\overline{}$				拉声兴弗 [安日	ᆂᄱ	四分亩:	<del>2 12 12</del>	0 /1 00	<u> </u>	
			+-	T_			支援事業費 [家具   ************************************			- · · - <del>-</del>	±****	<del></del>	
	-	科目	款	3	民生費		社会福祉費			艺人福祉費 	事業番号	4	
_		の種別		市単独			が実施することが法律等	-					
担	当部	部署・課長	.名	<u> </u>	高齢	介護	課高的	齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇		
この	/仕를	≸は、どの	)【於	₫策】の罰	果題を解	Z決するための手	段ですか。		施	策 番号 2	2 – 2	2	
【旅	を できない こうしゅう こうしゅう かいしゅう かいしん かいしん でんし かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かい	ろ】 高齢症	者保(	健福祉の	推進					合計画書	51		
		誰(何)				<u> </u>	<b>1 ①</b> の対	<u></u>		(ページ) )すもの (対象指			
	下記	記いずれかの	の者で			<i></i>		である。 者世帯数・高齢			<u> </u>		
ļ	• 7	70歳以上の	)者		☆付充⊝付た孝								
	• 愛	愛の手帳のる	交付を	を受けた者	当							ļ	
	• 精	・精神障害者保健福祉手帳2級以上の交付を受けた者											
						のですか。[簡潔	_	_	√・量を	きあらわすもの(	(成果指標)		
		齢者等の生命 生活の安全を			震災害/	から守り、高齢者等	等器具取付家	実施世帯数					
の	בנט	ご心ツ女主で	<u> 1</u> 21	ارد∪ ۱ <sub>0</sub>								ļ	
仕事	ĺ						<b>→</b>					ļ	
争の	ĺ											ļ	
		そのため								たか(活動指標)			
的	高樹	お者、身体に	章害を	<b>多及び知的</b>	」障害者で 取り	で構成された世帯の 付けを行う。1年の	の年間器具度	取付可能世帯数	夕				
ļ	うち	ら一定の期間	間内に	こおいて申	申請を受付	付け、器具等の取付	付						
		作業は市から 情者の費用負			<b>オセンタ</b> -	ーに委託している。	· 👈						
	40	16Wems	₹1上′0	, O <sub>0</sub>									
	ĺ											ļ	
				•	道去2年間G 単位		間の実績	の実績    当該年度		成果	目標		
	<u></u>		<u> </u>		早世	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度	平成31年度実績		令和3年度目	]標	
	<u> </u>		<u> </u>	'		単身高齢者世帯			70	<u> </u>	Γ ,	/	
2	対	付象指標	1 1	1 の数値	世帯	5,865 高齢者のみ世帯 (推	高齢者のみ世帯(推	高齢者のみ世帯(推計	高齢者のみ世帯 (推計)4,798				
+15	İ	ļ		,	'	計)4,670 H29.4.1現在			1.4.1現在				
指標	一				<b>—</b>		<del></del>				<del>/</del>	—	
の	亙	<b></b> 成果指標	2	の数値	世帯	21	29	13					
推	$\bigcap$	+	20	の目標値					29	29		29	
移	ΙĒ	目 標		目標値設定の考え方									
	<u></u>		高齢	者世帯への	の日常(	、在宅)生活の支援	爰を図るため、前年,	度実績を目標に	設定し	た。	<del></del>		
	浔	5動指標	3	3の数値	'	40	35	,	35		//		
Ш					<del> </del> '								
	<del>-</del>			実績)	円田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	526,893		+	1,231	※人件費の所要人数			
	財		一般財源		円田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	49,893			7,231	「人」で表わします ついては時間数で <i>の</i>	)表示も可としま	す。	
	財源	特定財源		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		270,673			その場合単位を「時さい。	間」に変更して	くだ		
3 経	$\vdash$				円	0	0	<del> </del>		人件費(再任用瞭			
杂全	件	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		再任用以外) 人		0.1	0.1	001	0.1	- 時間単価は、 4,300円			
書	費 所要人数(再任用)				人田田	825,300	824,400	তও।	1,000	で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。			
費	_	」取貝人1+₹		[用以外]	円円	<b> </b> '	<del> </del> '	<u> </u>		(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
費	日安		マノボム	~ CD/		1	<u> </u>	<b></b>		4			
費	日安	職員人件費				526 803	5/13/6	27/	' 721	•			
曹	(目安)	職員人件費事業費十	+人作	件費	円	526,893	541,346	274	1,231				
費	(目安)	職員人件費事業費十1)開始年	+人作 丰度	件費 平成7	円	526,893	541,346	274	1,231				
費 4	(目安)	職員人件費事業費十	+人作 丰度	件費 平成7	円	526,893	541,346	274	1,231 				
費 	(目安)	職員人件費事業費十1)開始年	+人作 丰度	件費 平成7	円	526,893	541,346		<u>1,231</u>				

事	業	名	称	高齢者日	常生活支援事業	費[家具転倒防止	器具取付	事業]		
担当	1 (1) 25		長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮	崇

5市	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について							
民等	各世帯への家具転倒防止器具の取付が普及したせいか、申請件数が減少した。							
の意								
思見								
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、 取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)							
6	□取り組んだ    取組手法:							
市民協	□ 【取組手法の種類】 □ 取り組まない ① 共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体: ) ⑦後援・場の提供 ⑧ その他( )							
働	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点							
	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)							
	ホームセンター等で比較的安価な価格で購入できるようになったことから、引続き事業の見直しを検討する余地がある。							
7	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。							
課	昨年度に引続き、業務の見直しを検討した。							
題								
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)							
	ホームセンター等で比較的安価な価格で購入できるようになったことから、引続き事業の見直しを検討する余地がある。							
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)							
	施策名:高齢者保健福祉の推進							
	□ なっている ☑ 環境の変化等により成果が減少している ☑ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名:							
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)							
Q	□拡大 □現状維持 □縮小 □休止  □廃止							
9								
今後の	商品の種別や販路が増加し、安価に調達できるようになったことを踏まえ、器具の特性及び設置作業の要否等について確認する。							
方向								
性	シルバー人材センターとの調整							